

医学研究センター

フェローシップ部門

丸山 敬
(部門長)

1. 部門概観

＜部門員構成＞

部 門 長 丸山 敬： 薬理学（教授）
副部門長 森 茂久： 総合医療センター血液内科（教授）
部 門 員 別所正美： 血液内科（教授）
斎藤一之： 法医学（教授）
片桐岳信： ゲノム医学研究センター病態生理部門（教授）
名越澄子： 消化器内科・肝臓内科（教授）
木村文子： 国際医療センター画像診断科（教授）
事 務 部 笠間 忍： 大学事務部（課長補佐）

＜活動目的＞

研究科委員会や医学教育センター大学院教育部門との連携のもとに、常勤教員以外の研究者（非常勤研究者）の経済的・身分的支援を目的とする。

＜業務＞

1. 私費外国人留学生等奨学生の選考
2. 非常勤研究員の審査・登録
3. 非常勤研究員の身分証明
4. 専攻生授業料免除の審査
5. 各種非常勤研究員の身分的位置づけおよびその他の支援体制の確立
6. 上記と関連して規定集（専攻生、協力研究員、特別協力研究員、特任研究員）の確認

2. 平成21年～22年の活動

庶務課の尽力により、奨学金募集並びに支給はほとんど問題なく遂行されている。今後とも不測の事態には教員と事務部門が協力して対応することを確認した。

＜私費外国人留学生等奨学生の選考について＞

平成22年3月と9月の選考は選考基準に基づいて行われた。

平成22年3月の応募者は2名であり、受給忌避条件に抵触することが無いことを確認し、両名とも採用として運営会議に答申し、採用された。

平成22年9月の募集では、トルコ共和国よりの留学生1名を採用とした。

＜日本人研究者の補助について＞

本フェローシップは基本的には外国人研究者を対象としている。日本人枠については、外国人申請者4名以上がすべて初めての受給申請の場合は、外国人を優先するが、受給歴のある外国人よりも1人を限度として、研究歴や研究能力が相応の日本人（博士課程最終学年か博士研究員を想定）を選別可能とする。

日本人の選考は、以下の順で優先することにした。

- (1) 学位取得者、受給開始日までに取得予定者とする。（ポストドクを想定）
- (2) 大学院最終学年在籍者を優先する。（学振のDC2を想定）
- (3) 本学の無給常勤研究員、大学院生、研究生。（研究歴／能力を勘案）

(4)同じ条件の場合は年長者を優先する。(社会的必要性を考慮)

＜奨学金謝辞について＞

私費外国人留学生等奨学生の成果発表時の謝辞を明文化し、以下のようにホームページに明記した。

ホームページ記載

奨学金受給者は発表時(論文、学会抄録等)の謝辞に以下のような記載をお願いします。また、謝辞が記載された文献のコピー、別刷り、pdf ファイル等を研究センター事務局までご提出ください。

＜業績発表時の謝辞について＞

奨学金受給者は発表時(論文、学会抄録等)の謝辞に以下のような記載をお願いします。

英文: "Taro Saitama is a recipient of the Saitama Medical University Research Fellowship"

和文: 「埼玉太郎は埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金の受給者である。」

3. 現状と今後の課題の総括

＜非常勤研究者の総合的支援について＞

全学的な問題であり、種々の状況を勘案しつつ、慎重に検討する。保健医療学部大学院の創設に伴い、大学院生の研究支援についても議論・提案していく。

＜私費外国人留学生等奨学生の名称について＞

外国人に限定されないことから、名称を検討していく。

(文責 丸山)